

自ら課題を見付け、見通しをもって活動する児童の育成

荒川区立第四峡田小学校

(1) 研究主題について

「自分から課題を見付けて探究的に学習に取り組んでほしい。」という教員の願いと児童の実態から「生活科・総合的な学習の時間」の研究を始めた。具体的な活動や体験から、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくことや横断的・総合的な学習を行うことで、自ら課題を見付け、見通しをもって活動する児童の育成をできるのではないかと考え、本研究を進めることとした。

(2) 主題に迫るための手立て

- ①児童が自ら課題を見付けることができる単元計画の工夫
- ②児童が見通しをもって学習に取り組むための手立ての工夫

(3) 研究経過

1	4月24日	研究について校内で確認 主題の検討や年間指導計画の確認
2	5月16日	講師の先生による講義 講師：台東区教育委員会 指導主事 松村 英治 様
3	6月26日	研究授業 2年生 生活 「やさいマスターになろう！」 講師：前北区立岩淵小学校 校長 野尻 史子 様
4	7月17日	研究授業 6年生 総合 「心のふるさと荒川区を伝え隊」 講師：台東区教育委員会 指導主事 松村 英治 様
5	9月24日	研究授業 4年生 総合 「隅田川復活大作戦」 講師：國學院大學 人間開発学部 初等教育学科 准教授 三田 大樹 様
6	10月30日	研究授業 1年生 生活 「みんなであきをたのしもう」 講師：前北区立岩淵小学校 校長 野尻 史子 様
7	12月18日	研究授業 3年生 総合 「障害についてもっと知り隊」 講師：台東区教育委員会 指導主事 松村 英治 様
8	1月22日	特別支援教室の授業実践 報告会 特別支援教育について校内で情報共有
9	1月29日	研究授業 5年生 総合 「よんぼう SAI」 講師：國學院大學 人間開発学部 初等教育学科 准教授 三田 大樹 様
10	2月19日	今年度の研究のまとめ 講師：國學院大學 人間開発学部 初等教育学科 准教授 三田 大樹 様

(4) 成果と課題について

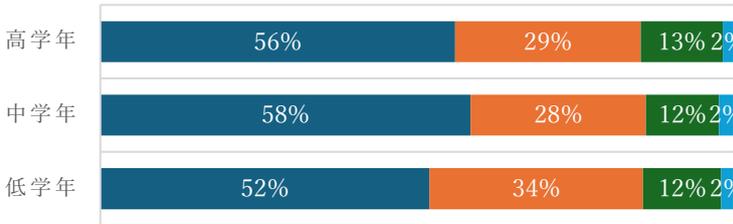
成果：児童の思いや願いを大切に、単元を計画することが児童の意欲の向上につながった。

課題：児童の言葉を大切にしながらも、探究課題を精選していくことについて課題が残った。

R6年度 実態調査結果

①自ら課題を設定することができますか。

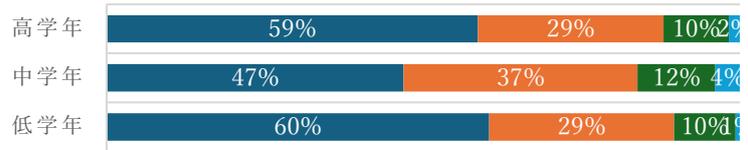
■ 1 できる ■ 2 ときどきできる
■ 3 あまりできていない ■ 4 できていない



②課題解決に向けて見通しをもって

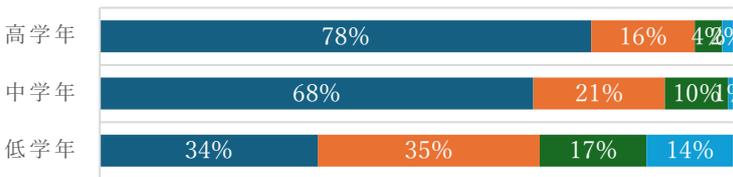
取り組むことができますか。

■ 1 できる ■ 2 ときどきできる
■ 3 あまりできていない ■ 4 できていない



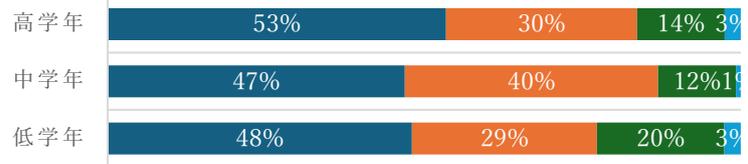
③自分が必要な情報をタブレットや本を使って集めることができますか。

■ 1 できる ■ 2 ときどきできる
■ 3 あまりできていない ■ 4 できていない



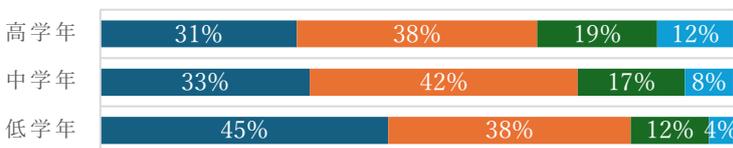
④友だちの考えと比べ、自分の考えをもつことができますか。

■ 1 できる ■ 2 ときどきできる
■ 3 あまりできていない ■ 4 できていない



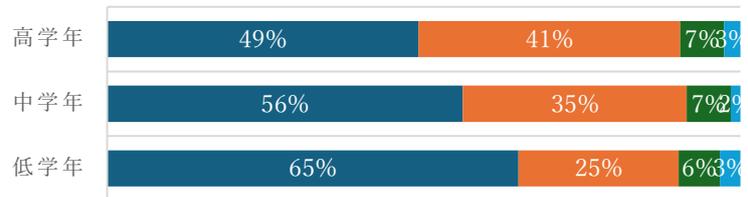
⑤自分の考えを友達や先生、家族や地い きの人などに伝えようとしていますか。

■ 1 できる ■ 2 ときどきできる
■ 3 あまりできていない ■ 4 できていない



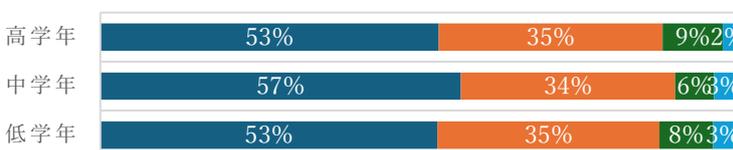
⑥他の教科で学んだことが役立っていますか。

■ 1 やくだっている ■ 2 ときどきやくだっている
■ 3 あまりやくだっていない ■ 4 やくだっていない



⑦学んだことが他の教科や自分の生活に役 立っていますか。

■ 1 やくだっている ■ 2 ときどきやくだっている
■ 3 あまりやくだっていない ■ 4 やくだっていない



①、③の結果から自ら課題設定はできているが、情報法
収集の仕方に課題が見られる。また今年度は「友達との
意見の比較」や「発信の機会」が少なかったため、次年
度は「対話的で協働的な活動」を取り入れた単元計画の
構成を図っていきたい。